

～アクセス性の向上による地域産業の活性化～

- ・高槻JCT・IC～川西ICの周辺には、地域の特性を生かした様々な特産品があり、地域の直売所(道の駅など)や近隣の卸売市場に出荷されています。
- ・E1A新名神高速道路の開通により、新鮮な農作物の生産・販売エリアへのアクセス性が向上することで、消費の拡大など地域産業の活性化が期待されます。

◆高槻JCT・IC～川西IC周辺の特産品

猪名川の「原木しいたけ・自然薯」

原木しいたけ

肉厚で香りが良く、軸までやわらかいのが特徴。手間と時間をかけて育てられた原木しいたけは、しいたけ本来の味わいを楽しむことができる。乾燥シイタケにも加工されている。

自然薯

山野に広く自生し、滋養強壯の健康食品として古くから珍重されてきた自然薯。粘質は長芋の4～5倍あり、強い粘りが特徴。

箕面 止々呂美地区の「柚子・びわ・栗」

柚子

色つやはもちろん香りもたいへんよく、料亭でも使用されている。

びわ

山の斜面を利用してびわの栽培をしている。品種は「田中種」。大粒で、市場では高級品として取り扱われている。

栗

山の斜面を利用して栗の栽培が行われている。栗の品種は、「早生栗(わせぐり)」と大粒の「銀寄せ」。味がよく、人気がある。

川西の「イチジク・桃(早生)」

イチジク(出荷量全国4位:兵庫県)

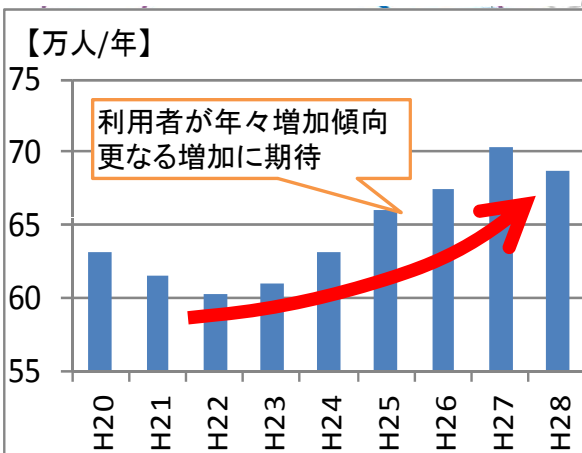
品種は「樹井ドーフィン」。朝採り、完熟が特徴。完熟のものを 早朝から収穫し、朝早くには市場などに出荷される。

桃(早生)

市南部の加茂地区などで栽培され、通常7月頃にとれる桃よりも一月早く収穫できる早生(わせ)桃。阪神間の市場でも大変人気がある。



【●道の駅 いながわ 利用客数推移】



- ・1級河川猪名川の源流の地、猪名川町では農家が丹精込めて育てた農産物が自慢です。特産品の原木しいたけや、そばが有名ですが、自然薯やトマト、イチゴ、ブドウなど多くの作物が作られています。道の駅いながわでは、新鮮な農産物の販売や地元食材を食することができます。
- ・新名神が開通し、県外からも“安心”、“新鮮”、“おいしい”の3拍子が揃った「いながわ野菜」を買いに来ていただき、猪名川町の魅力を思いっきり楽しんでもらうことを期待しています。(猪名川町)

